

2020/10/01(木)11:45

授業科目名(英語名)	人工知能基礎				
担当教員	David Ramamomjisoa	所属	ソフトウェア情報学科		
教育課程	専門共通科目				
開講年次	2年後期				
授業形態	講義	単位数	2.0	必修・選択	選択
資格対応					
正課学生以外の受講	他学部・他学科	4大・短大間	いわてコンソ	科目等履修	その他
(○:受講可)	○	○	○	○	
授業のねらい・概要	人間の知能をモデル化し、コンピュータシステムとして実現するために必要な知識や技術について学習する。また技術のみでなく、それが生まれてきた背景や用途、残されている課題についても学習する。これらを通し、知能システムに関する基礎知識・技術を習得することを目的とする。さらに、自らがそれらの知識や技術をコンピュータ上に実現できる技術を養うことを目指す。				
キーワード《5つまで》	人工知能、問題解決、探索手法、プランニング				
学修目標	* 目標1「コンピュータで問題解決を行なうための基礎的な技術や知識の理解」 * 目標2「人工知能の基礎となる探索技法についての基礎的な技術や知識の理解」				
授業の位置付け	DP3,DP6				
授業の計画	回 内容 第1回 ガイダンス 第2回 知能システム研究分野の概説 第3回 問題解決、知的エージェント 第4回 問題解決、状態空間法 第5回 問題解決、問題分割法 第6回 グラフ 第7-8回 情報なし探索問題 第9-10回 情報あり探索問題 第11回 ゲーム木の探索問題 第12回 ゲーム木の探索問題(2) 第13回 プランニング 第14回 プランニング(2) 第15回 期末試験				
教科書【学生が必ず準備するもの】	テキスト…なし。必要に応じて、補足資料を配布する。				
参考書等	シラバス参照。人工知能関係の専門書が参考書になる。				
授業の形式					
成績評価の方法	目標1:2~8回のレポートの得点が60点以上の場合、合格とする。 目標2:9~14回のレポートの得点が60点以上の場合、合格とする。 ミニプロジェクトの得点が60点以上の場合、合格とする。 期末試験の得点が60点以上の場合、合格とする。 以上のことから、出席も考慮し、70%以上の出席を求める。 以上すべてを満たすことが単位取得の最低条件である。				
授業前・授業後の学修					
履修にあたっての留意点	本授業は先に開講される離散数学、計算モデル論、解析学、線形代数(旧情報学基礎A、情報学基礎C)、ソフトウェア演習A、ソフトウェア演習B、ソフトウェア演習C、知能システム総論(平成18年度以降入学者)を履修していることが望ましい。授業におけるレポートはプログラミングを含むため、プログラミングに関する学習内容を再度確認しておくこと。				
実務経験を生かした授業内容					
備考					